

委員会報告

平成23年度消化器がん検診全国集計

Ⅰ. 胃がん検診全国集計

Ⅱ. 大腸がん検診全国集計

Ⅲ. 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

日本消化器がん検診学会全国集計委員会

北川 晋二, 宮川 国久, 入口 陽介, 大黒 隆司,
小川 眞広, 小林 正夫, 丹羽 康正, 藤谷 幹浩,
松浦 隆志, 松田 徹

はじめに

全国集計委員会が担当する全国集計は、今回でその29回目にあたる。平成23年度の調査は調査票を送付する方法に加え、コンピューター入力用プログラムを送付しCD-Rディスクにて回答を求めする方法も行った。

Ⅰ 胃がん検診全国集計成績

1. 胃がん検診全国集計対象機関の区分と機関別受診者

検診機関を区分別にみると、検診の統計をよく行っているⅠ群の割合は、間接がん検診機関では173カ所中157カ所（90.8%）、直接がん検診では146カ所中123カ所（84.2%）、デジタルがん検診では243カ所中218カ所（89.7%）であった（表1）。

平成23年度の受診者総数は、6,836,129人で、発見胃癌の実数は5,371例（0.079%）であった。精検受診率を100%とした場合の推定発見胃癌数8,759例（0.128%）であった（表2）。

胃がん検診の受診者総数の年次別推移をみると、図1に示すように平成23年度の受診者総数は、前年度と比べ約10万人、1.5%減少した。

2. 撮影方法

胃X線撮影法について検診機関数を分母にしてみると、撮影枚数は間接がん検診では6枚の機関はなく、7枚が15.6%、8枚以上が80.4%で、増加傾向を示し、学会の勧告した標準枚数がかかなり定着していると考えられた（図2-a）。200%以上のバリウムを用いている施設は、間接がん検診で82.6%、直接がん検診で78.0%、デジタルがん検診で83.2%を占めていた（図2-b）。バリウムの量は間接がん検診、直接がん検診、デジタルがん検診とも、131～150mlが最も多く使われており、少量の高濃度バリウムで検査する施設が増加していた（図2-c）。バリウムの濃度と量の関係を図2-dに示すが、負の相関を示した。

撮影者については、間接がん検診では、医師が撮影する機関は1.2%、技師が行う機関は93.6%、両者で撮影するもの1.2%であった。直接がん検診では医師が5.5%、技師は78.1%、両者が8.2%であった。デジタルがん検診では医師が0.8%、技師は89.7%、両者が2.9%であった（図2-e）。

3. 読影状況

読影状況についてみると、ダブルチェックを行っていない機関が間接がん検診で8.7%、直接が

表1 胃がん検診全国集計対象機関の区分（平成23年度）

	機関数		
	1) 間接がん検診	2) 直接がん検診	3) デジタルがん検診
性・年齢別に受診者、要精検者、精検 Ⅰ群 受診者、発見胃癌患者が把握され、且 つ癌患者の個人票の揃っているもの	157 (90.8 %)	123 (84.2 %)	218 (89.7 %)
Ⅱ群 性・年齢別に集計されていないもの 及び集計数のみ判明するもの	16 (9.2 %)	23 (15.8 %)	25 (10.3 %)
計	173	146	243

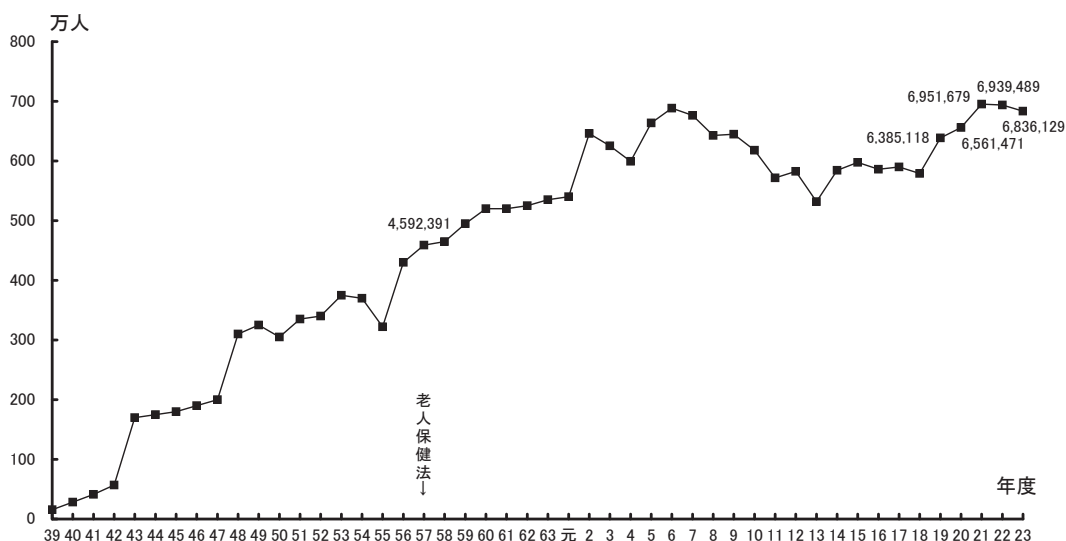
(注): 1)間接X線撮影による胃がん検診のこと
2)直接X線撮影による胃がん検診のこと
3)デジタルX線撮影による胃がん検診のこと

表2 対象機関別受診者数と発見胃癌数
(平成23年度, 男女計, 間接, 直接, デジタルの合計)

区分	受診者数	発見胃癌数 (実数)	率	(推定数)	(推定率)
Ⅰ群	6,506,026	5,352	0.082 %	8,340	0.128 %
Ⅱ群	330,103	19	0.006 %	1,217	0.369 %
総計	6,836,129	5,371	0.079 %	8,759	0.128 %

* 推定率は各群の精検受診率(Ⅰ群64.2%、Ⅱ群1.6%)を100とした場合、未受診者も受診者と同じ率で、胃癌が発見されるものとして算出したもの

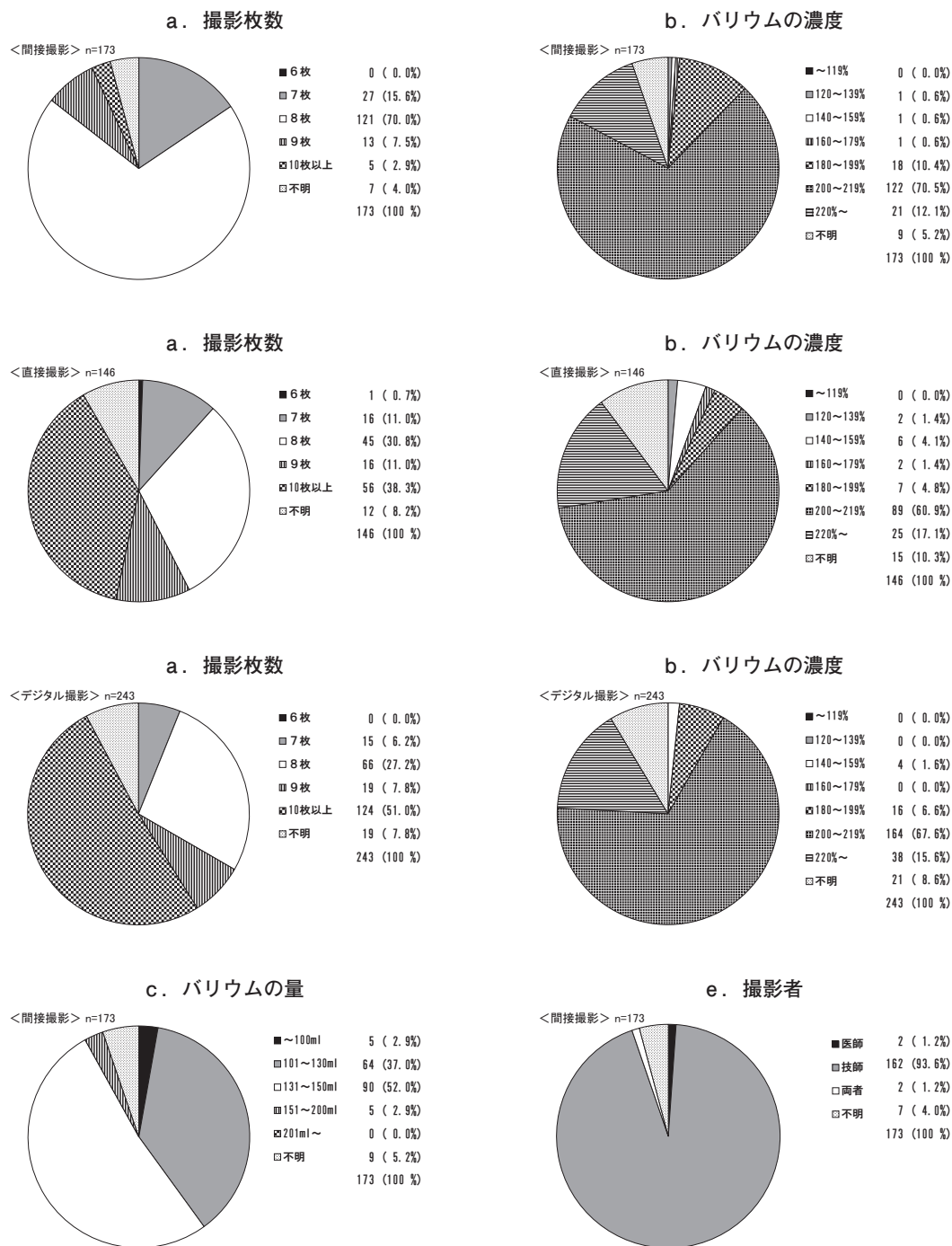
図1 胃がん検診の年度別集計対象数の推移（昭和39年度～平成23年度学会による全国集計）



ん検診で7.5%，デジタルがん検診で14.0%あった（図3－a）。認定医の有無についてみると，間接がん検診を行っている検診機関では67.6%，直

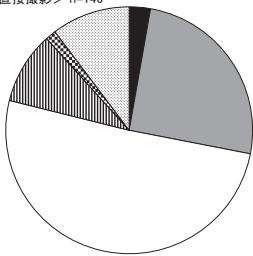
接がん検診の機関では，60.3%，デジタルがん検診の機関では，65.5%に認定医がいるという状況であった（図3－b）。

図2 撮影方法



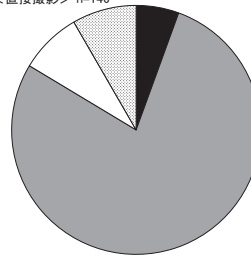
c. バリウムの量

<直接撮影> n=146



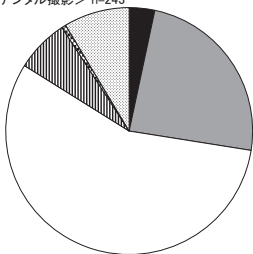
e. 撮影者

<直接撮影> n=146



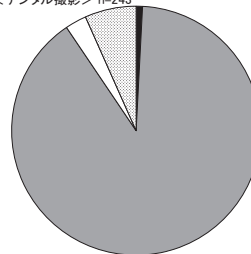
c. バリウムの量

<デジタル撮影> n=243



e. 撮影者

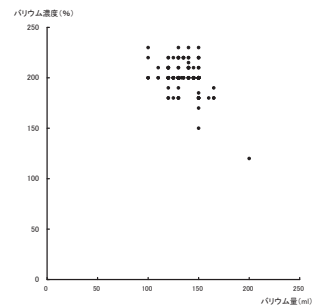
<デジタル撮影> n=243



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

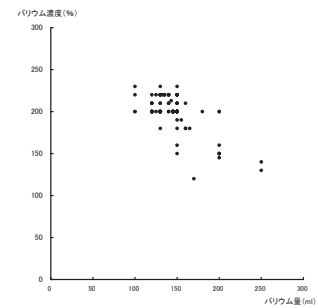
<間接撮影> d. バリウムの濃度と量



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

<直接撮影> d. バリウムの濃度と量



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

<デジタル撮影> d. バリウムの濃度と量

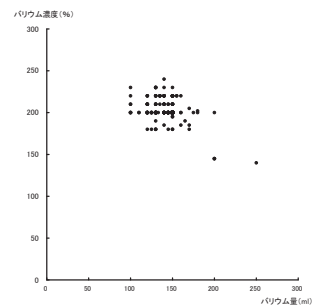


図3 読影状況

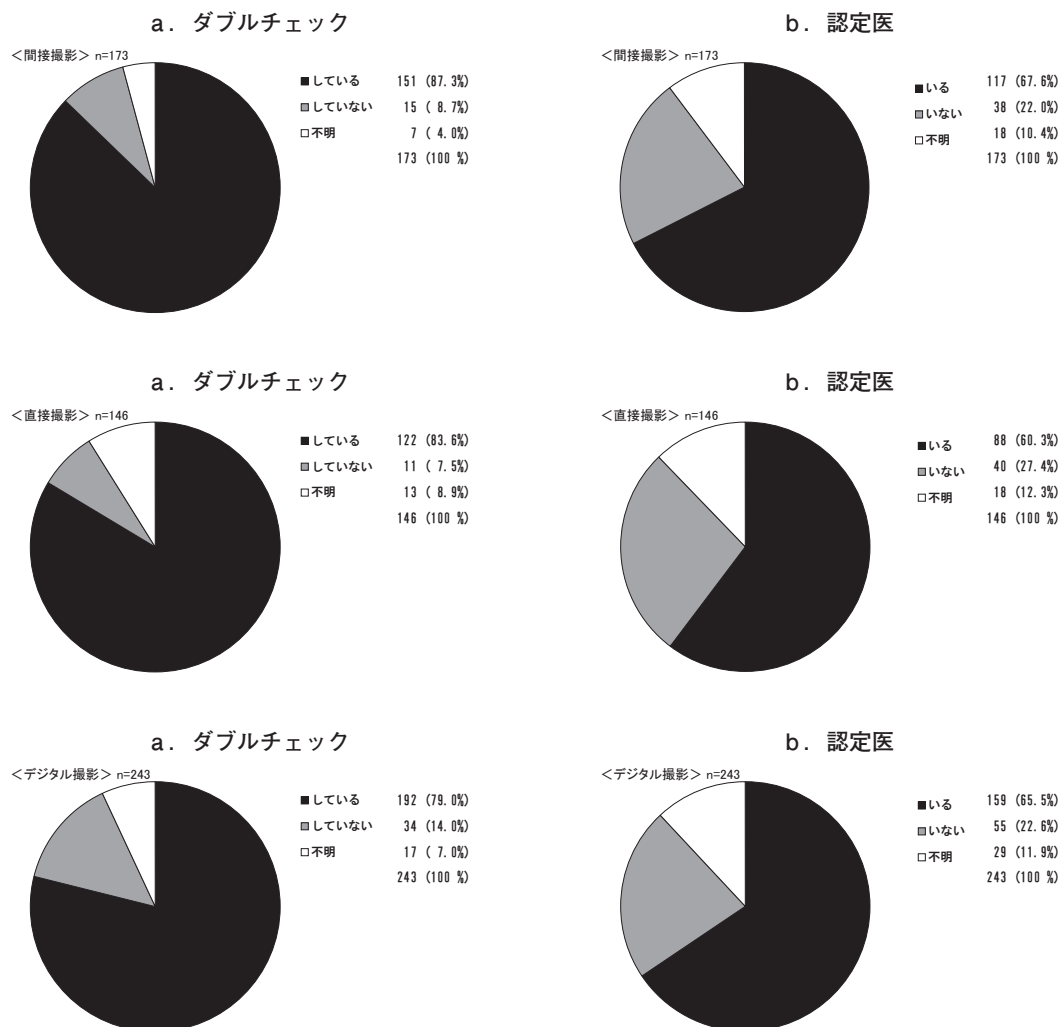


表3 地域・職域検診別の検診成績

(I, II群, 間接・直接・デジタルがん検診, 男女合計, 平成23年度)

	地域検診	職域検診	計
検 診 数	2,556,795	3,299,850	5,856,645
要 精 検 者 数	228,745	202,814	431,559
要 精 検 率	8.9 %	6.1 %	7.4 %
精検受診者数	184,458	87,997	272,455
精 検 受 診 率	80.6 %	43.4 %	63.1 %
発 見 胃 癌 数	3,877	1,009	4,886
発 見 率	0.152 %	0.031 %	0.083 %

図4 精検以後の管理

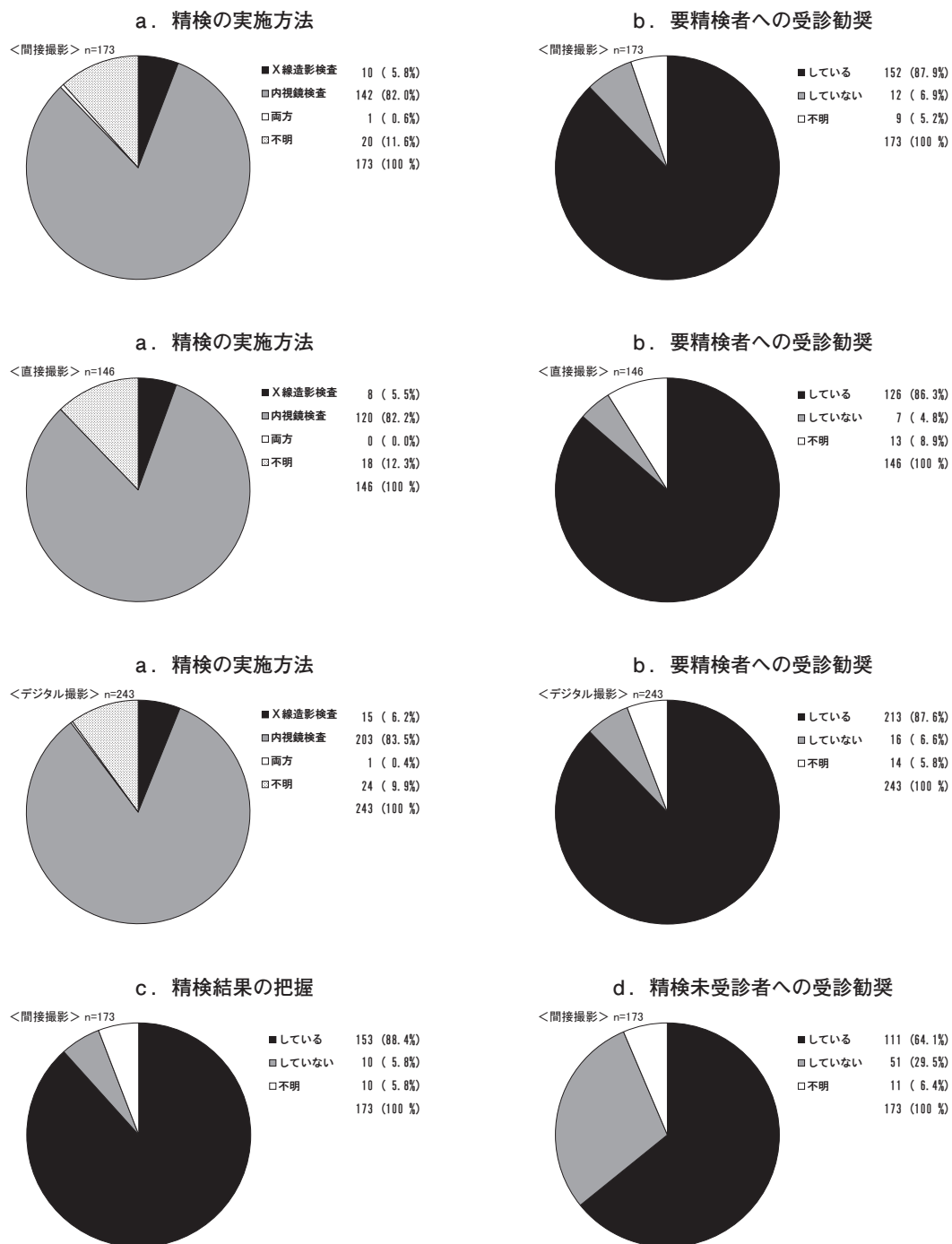


図4 精検以後の管理

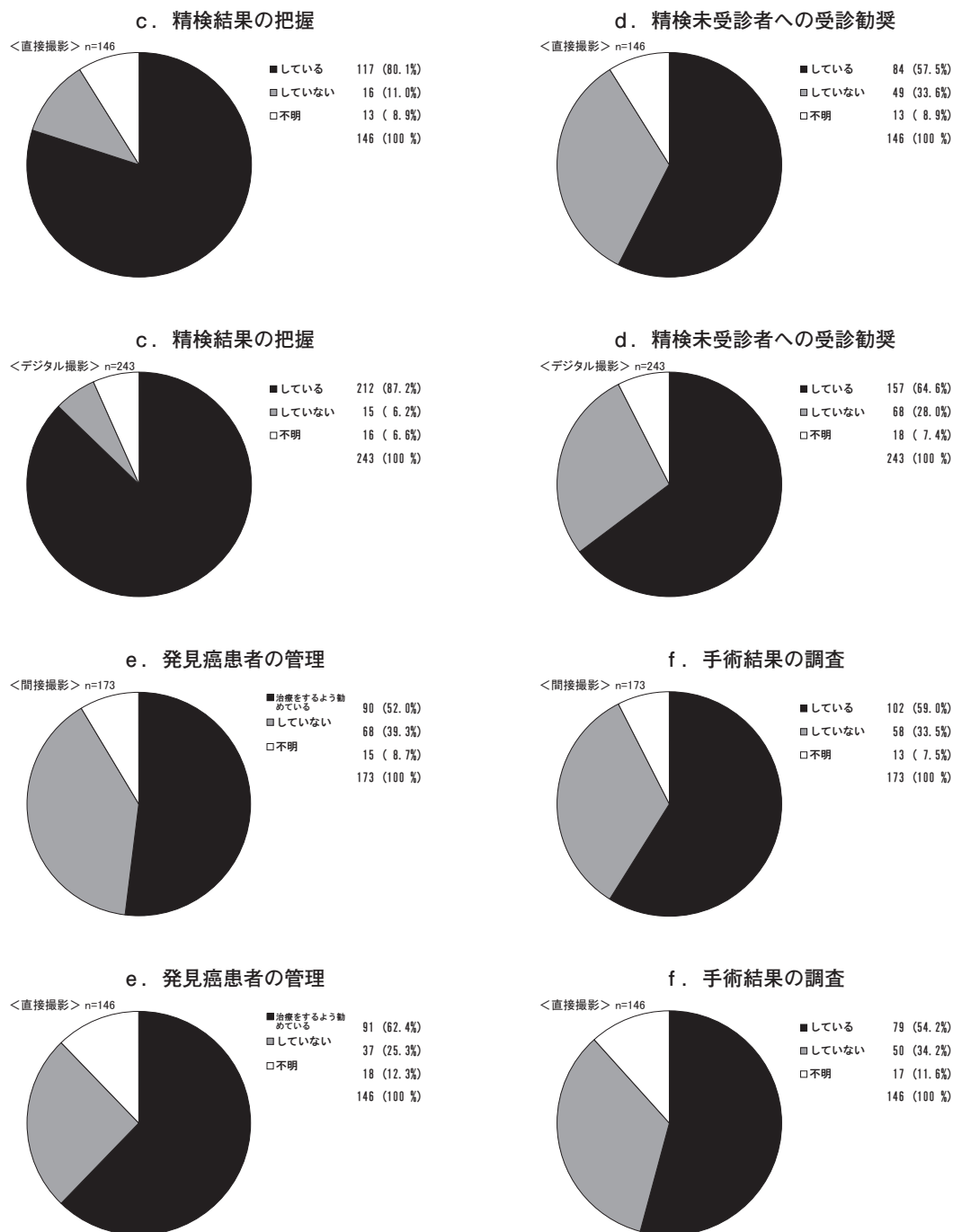
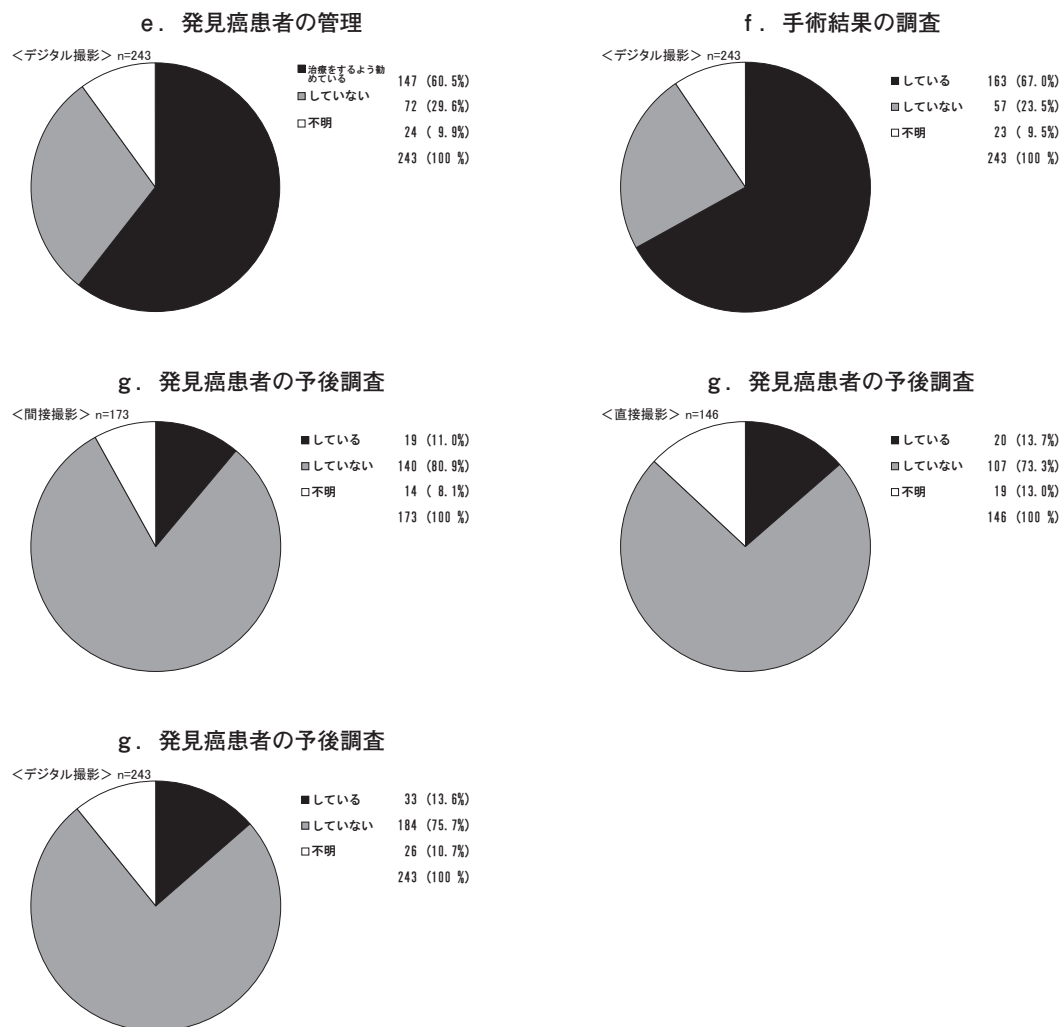


図4 精検以後の管理



4. 精検以後の管理

精検以後の管理の方法について、間接がん検診の場合について述べると、精検の実施方法では、X線検査であるもの5.8%，内視鏡検査であるもの82.0%，X線検査と内視鏡検査両方を施行しているのは0.6%であった。要精検者に対する受診勧奨をしているのは87.9%（図4－b），精検結果の把握をしているところは88.4%（図4－c），精検未受診者への受診勧奨を行っているのは64.1%（図4－d），発見胃癌患者への治療の勧奨を

積極的に進めているところは52.0%（図4－e），手術結果の調査をしているところは59.0%（図4－f），またその予後調査をしているところは11.0%であった（図4－g）。直接がん検診の場合は，発見癌患者への治療の勧奨をしているところが62.4%，手術結果の調査をしているところは54.2%，患者の予後調査をしているところは13.7%であった。デジタルがん検診の場合は，発見癌患者への治療の勧奨をしているところが60.5%，手術結果の調査をしているところは67.0%，患者

表4 地域・職域・人間ドック検診別の検診成績
(Ⅰ, Ⅱ群, 間接がん検診, 男女合計, 平成23年度)

	地域検診	職域検診	人間ドック	計
検 診 数	1,455,287	1,157,593	12,605	2,625,485
要 精 検 者 数	124,336	69,436	1,137	194,909
要 精 検 率	8.5 %	6.0 %	9.0 %	7.4 %
精検受診者数	100,911	29,211	722	130,844
精 検 受 診 率	81.2 %	42.1 %	63.5 %	67.1 %
発 見 胃 癌 数	1,999	288	5	2,292
発 見 率	0.137 %	0.025 %	0.040 %	0.087 %

表5 間接・直接・デジタルがん検診別の検診成績
(Ⅰ, Ⅱ群, 男女合計, 平成23年度)

	間接がん検診	直接がん検診	デジタルがん検診	計
検 診 数	2,628,244	759,743	3,448,142	6,836,129
要 精 検 者 数	195,191	55,533	240,361	491,085
要 精 検 率	7.4 %	7.3 %	7.0 %	7.2 %
精検受診者数	131,008	28,055	142,069	301,132
精 検 受 診 率	67.1 %	50.5 %	59.1 %	61.3 %
発 見 胃 癌 数	2,294	539	2,538	5,371
発 見 率	0.087 %	0.071 %	0.074 %	0.079 %

図5 性・年齢階級別受診者数 (平成23年度)
(地域, 職域, 個別, 人間ドック合計)

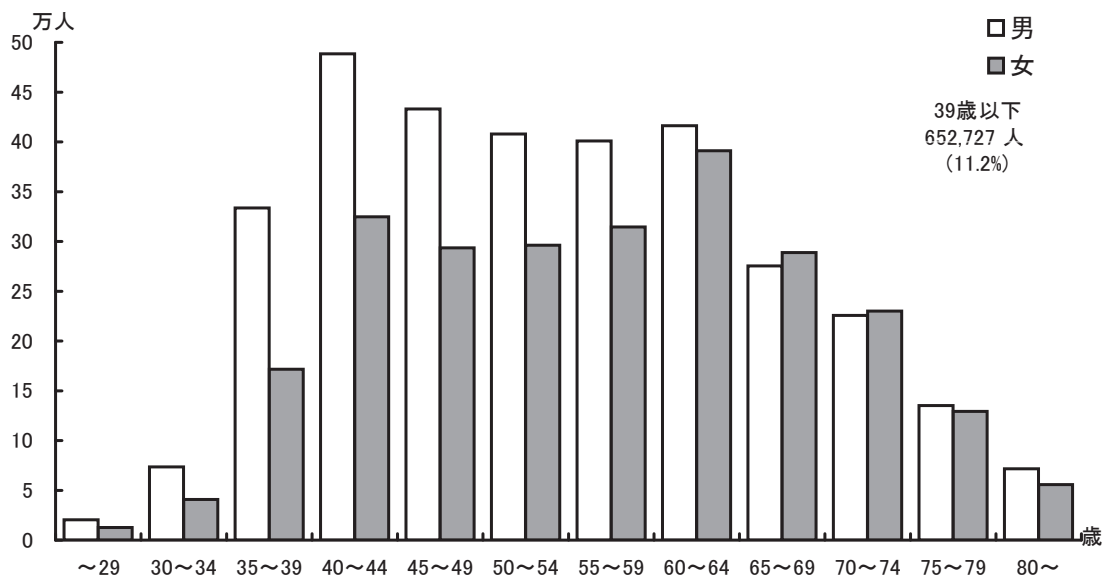


表6 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—男性—直接・間接・デジタル、地域・職域・個別検診、人間ドック合計（平成23年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	3,296,161	20,388	73,465	333,692	488,455	433,104	407,895	400,917	416,231	275,342	225,724	135,243	71,686	14,019
B 要精検者数	271,763	510	2,238	11,918	23,226	26,104	32,383	39,446	46,844	32,806	27,621	17,293	9,202	2,172
B/A %	8.24 %	2.50 %	3.05 %	3.57 %	4.75 %	6.03 %	7.94 %	9.84 %	11.25 %	11.91 %	12.24 %	12.79 %	12.84 %	15.49 %
C 精検受診者数	162,007	220	976	5,344	10,830	12,174	15,612	19,861	27,976	23,631	21,760	14,267	7,626	1,730
C/B %	59.61 %	43.14 %	43.61 %	44.84 %	46.63 %	46.64 %	48.21 %	50.35 %	59.72 %	72.03 %	78.78 %	82.50 %	82.87 %	79.65 %
D 胃癌	3,711	0	1	18	36	64	167	324	635	679	795	549	370	73
D/A %	0.113 %	0.000 %	0.001 %	0.005 %	0.007 %	0.015 %	0.041 %	0.081 %	0.153 %	0.247 %	0.352 %	0.406 %	0.516 %	0.521 %
非上皮性悪性腫瘍	58	1	0	0	2	1	3	7	15	13	7	4	2	3
胃腺腫(異型上皮)	730	0	0	5	9	11	30	56	140	115	146	122	89	7
胃ポリープ	19,263	20	135	757	1,368	1,498	1,640	2,086	2,953	2,786	2,844	1,966	989	221
胃潰瘍	23,616	7	91	584	1,355	1,766	2,698	3,646	4,778	3,316	2,698	1,590	876	211
その他の胃良性疾患	68,278	68	337	1,934	4,123	4,796	6,157	8,047	12,020	10,604	9,864	6,532	3,311	485
異常なし	28,768	97	329	1,396	2,491	2,431	2,960	3,470	4,476	3,766	3,436	2,229	1,301	386

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表7 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—女性—直接・間接・デジタル、地域・職域・個別検診、人間ドック合計（平成23年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,562,116	12,586	40,861	171,735	324,789	293,507	296,255	314,589	391,059	288,880	230,104	129,262	55,759	12,730
B 要精検者数	161,369	280	1,045	5,647	13,433	13,852	16,866	20,577	28,398	22,867	19,472	11,967	5,485	1,480
B/A %	6.30 %	2.22 %	2.56 %	3.29 %	4.14 %	4.72 %	5.69 %	6.54 %	7.26 %	7.92 %	8.46 %	9.26 %	9.84 %	11.63 %
C 精検受診者数	119,867	170	601	3,128	8,348	8,449	11,044	14,398	22,042	18,860	16,570	10,369	4,653	1,235
C/B %	74.28 %	60.71 %	57.51 %	55.39 %	62.15 %	60.99 %	65.48 %	69.97 %	77.62 %	82.48 %	85.10 %	86.65 %	84.83 %	83.45 %
D 胃癌	1,270	1	1	8	29	36	85	119	201	223	275	177	100	15
D/A %	0.050 %	0.008 %	0.002 %	0.005 %	0.009 %	0.012 %	0.029 %	0.038 %	0.051 %	0.077 %	0.120 %	0.137 %	0.179 %	0.118 %
非上皮性悪性腫瘍	35	0	0	1	4	2	5	4	4	6	5	2	2	0
胃腺腫(異型上皮)	292	0	1	3	4	6	9	15	50	59	70	40	32	3
胃ポリープ	26,970	49	182	1,118	2,918	2,600	2,647	3,000	4,295	3,807	3,187	2,023	940	204
胃潰瘍	8,356	1	20	115	411	542	899	1,212	1,684	1,244	1,130	688	328	82
その他の胃良性疾患	47,421	56	157	832	2,332	2,559	3,971	5,661	9,532	8,196	7,275	4,549	1,934	367
異常なし	25,081	52	198	793	1,913	1,938	2,405	3,121	4,419	3,721	3,284	2,018	916	303

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

図6 地域検診の年齢階級別受診者数（平成23年度）（直接・間接・デジタル、男女合計）

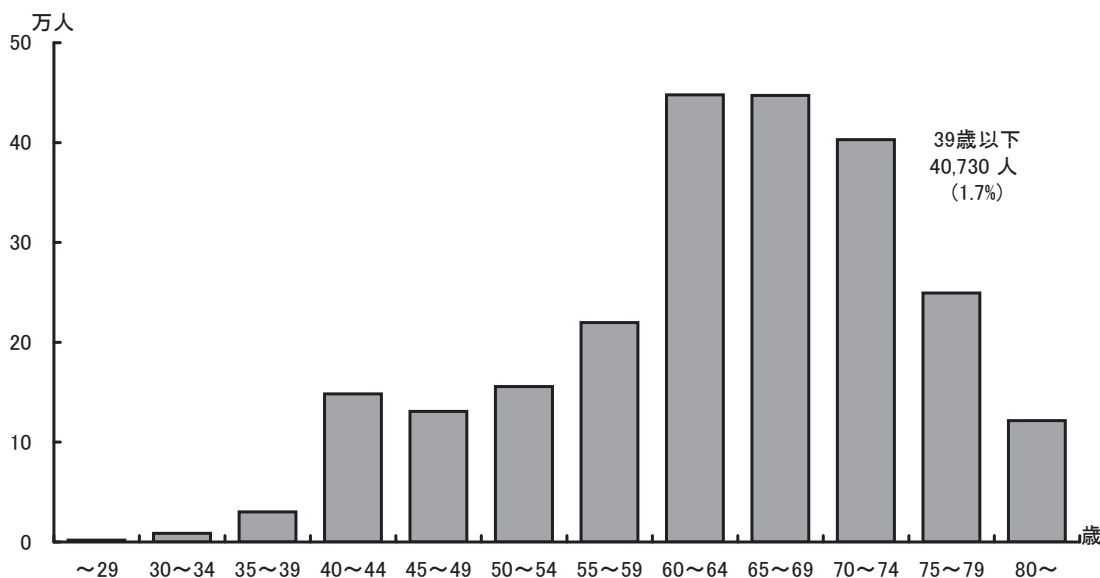


図7 職域検診の年齢階級別受診者数（平成23年度）（直接・間接・デジタル、男女合計）

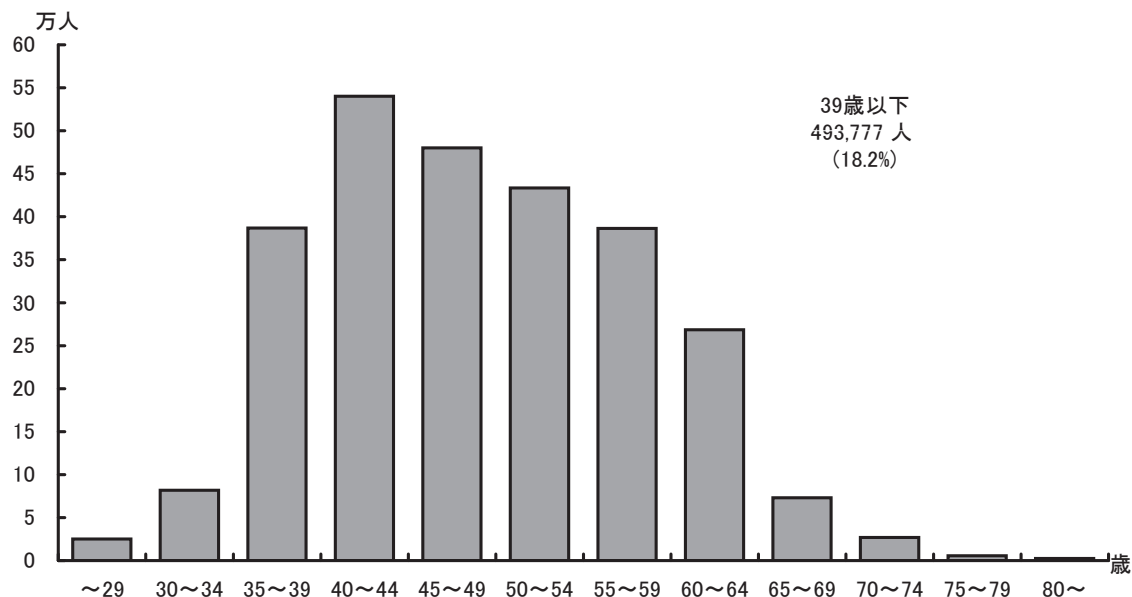


表8 発見疾患とその頻度（年次別推移）（男女計）

年 度		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
胃疾患	A	5,302	5,268	5,494	5,304	4,732	4,790	5,272	4,984
	B	7,740	7,264	7,704	7,623	6,938	6,976	8,046	7,663
	B/C	0.15	0.14	0.14	0.15	0.14	0.15	0.14	0.13
胃ポリープ	A	57,874	57,831	56,987	51,438	46,397	43,350	49,603	46,407
	B	84,488	79,745	79,914	73,926	68,031	63,137	75,707	71,351
	B/C	1.65	1.55	1.49	1.42	1.33	1.33	1.30	1.21
胃潰瘍	A	39,542	39,574	39,221	33,399	30,760	31,218	32,873	32,067
	B	57,726	54,570	55,001	48,001	45,103	45,468	50,172	49,304
	B/C	1.12	1.06	1.02	0.92	0.88	0.96	0.86	0.83
受診者総数		5,132,087	5,133,307	5,370,924	5,221,232	5,125,322	4,755,413	5,837,975	5,920,600

*性別、5歳階級別に集計可能な受診者数を母数とした

A:実数、B:要精検者が全員精検を受診した場合の推定数、C:受診者総数

表9 治療方法（平成23年度）

総 数	3,662
外 科 手 術	1,549
腹腔鏡下手術	764
内視鏡的治療	1,114
化 学 療 法	97
無 治 療	36
そ の 他	27
不 明	75

表10 手術の種類（平成23年度）

総 数	2,290
切 除 術	2,231
ポリープ摘除術	6
吻 合 術	4
単 開 腹	7
造 瘻	1
不 明	41

表11 根治度（平成23年度）

総 数	1,883
A	1,508
B	127
C	76
不 明	172

表12 癌病巣の数（平成23年度）

単 発	3,183
2 個	267
3 個	46
4個以上	27
不 明	91
合 計	3,614

表13 発見胃癌の占居部位Ⅰ（平成23年度）

部 位	病巣数	%
U	719	20.1
M	1,651	46.3
L	1,156	32.3
全 体	48	1.3
合 計	3,574	100.0

の予後調査をしているところは13.6%であった（図4-e～g）。

5. 地域・職域検診別および間接・直接がん検診別の成績

地域検診と職域検診に分けて検討すると、地域検診が2,556,795人、職域検診が3,299,850人で前者が43.7%を占めていた。地域検診と職域検診との精検受診率を比較してみると、各々80.6%と43.4%であり、両者に著しい差が認められ、職域検診の一次検診後の管理に依然として不備が感じられた。その結果、後述する職域検診での39歳以下の若年受診者の占める割合が多いこととあいまっ

表14 発見胃癌の占居部位Ⅱ（平成23年度）

部 位	病巣数	%
小 彎	1,394	39.3
大 彎	612	17.3
前 壁	602	17.0
後 壁	812	22.9
全 周	125	3.5
合 計	3,545	100.0

表15 発見胃癌の大きさ（平成23年度）

長径(cm)	病巣数	%
～1.0	418	12.8
1.1～2.0	867	26.5
2.1～5.0	1,462	44.5
5.1～	530	16.2
合 計	3,277	100.0

て、職域検診での胃癌発見率は0.031%と、地域検診の0.152%の5分の1であった（表3）。また間接がん検診について、地域、職域、人間ドック検診別に検討したものを表4に示した。

間接がん検診、直接がん検診、デジタルがん検診を比較すると、受診者数は間接がん検診が2,628,244人、直接がん検診が759,743人、デジタルがん検診が3,448,142人で、各々38.5%、11.1%、50.4%を占めた（表5）。要精検率は、各々7.4%、7.3%、7.0%と差は少なかったが、精検受診率は、各々67.1%、50.5%、59.1%と間接がん検診が高率であった。胃癌発見率は、各々0.087%、0.071%、0.074%と間接がん検診が高率であった。

6. 性・年齢階級別受診者数および疾患発見率

直接、間接、デジタル、地域、職域、個別、人間ドックがん検診を合計した性・年齢階級別の受診者数を図5に示した。男の分布は女に比べ若年者が多かった。胃癌発見率は男で0.113%、女で

表16 切除胃癌の深達度別頻度（平成23年度）

総数	M	SM	MP	SS	SE	SI
3,403 (100.0 %)	1,588 (46.6 %)	931 (27.4 %)	281 (8.3 %)	314 (9.2 %)	254 (7.5 %)	35 (1.0 %)
M + SM		MP + SS + SE + SI				
2,519 (74.0 %)		884 (26.0 %)				

表17 Stage分類（平成23年度）

Stage	例 数	%
I A	2,236	64.2
I B	315	9.0
II A	210	6.0
II B	158	4.5
III A	129	3.7
III B	92	2.6
III C	64	1.8
IV	132	3.8
不明	153	4.4
計	3,489	100.0

表18 肉眼分類（平成23年度）

肉眼分類	例 数	%
0型	2,623	73.6
1型	109	3.1
2型	321	9.0
3型	328	9.2
4型	112	3.1
5型	73	2.0
計	3,566	100.0

表19 0型（表在型）の亜分類（平成23年度）

肉眼分類	例 数	%
I	125	4.8
II a	514	19.6
II a+ II c	288	11.0
II b	44	1.7
II c	1,344	51.2
II c+ III	68	2.6
II c+ II a	82	3.1
III+ II c	7	0.3
III	11	0.4
その他の組み合わせ	110	4.2
不明	30	1.1
計	2,623	100.0

0.050%，男が女の2倍以上の発見率であった。胃ポリープは男が0.58%，女が1.05%で，逆に女の方が1.8倍発見率は高かった。胃潰瘍は男が0.72%，女が0.33%で，男が2.2倍であった（表6，7）。

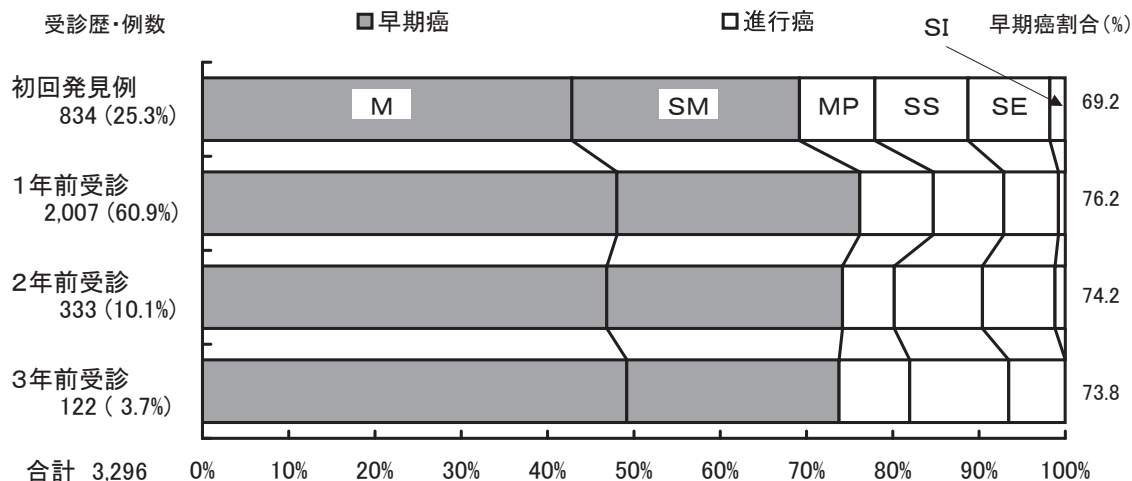
39歳以下の受診者は男女あわせて約65万人おり，これは全受診者数の11.2%を占めていた。これを地域と職域検診に分けてみると，地域検診では39歳以下は男女あわせて1.7%であった。一方，職域検診では39歳以下が18.2%と，若年層受診者の占める頻度は地域検診に比べ，11倍高かった（図6，7）。

7. 発見疾患の年次推移

表8は各胃疾患の発見率の年度別推移を表したものである。受診者総数（C）は，性別，5歳階

級別に各疾患の発見数と頻度が算出可能なものを分母として算出した。表のうち，Aは発見実数，Bは要精検者が全員精検を受診した場合の推定患者数で， B/C は推定発見率である。平成23年度の推定発見率は，胃癌0.13%，胃ポリープ1.21%，胃潰瘍0.83%であった。年度別の変化をみると胃

図8 発見胃癌例の検診受診歴と早期癌の頻度（平成23年度）

表20 内視鏡胃がん検診の全国集計成績
(平成23年度)

受診者総数	453,951 人
男	249,523 人 (55.0%)
女	204,428 人 (45.0%)
発見疾患と発見率	
胃癌	1,249 (0.28%)
（うち早期癌 949名）	(0.21%)
胃潰瘍	15,242 (3.36%)
胃ポリープ	59,406 (13.09%)

(年間500人以上実施し、集計可能な機関についての集計)

表21 大腸がん検診全国集計対象機関の区分
(平成23年度)

	機関数
I 群	247
II 群	33
計	280

表22 大腸がん検診の対象（重複回答）
(平成23年度)

地域	職域	個別	人間ドック	検診機関数
204 (72.9 %)	205 (73.2 %)	72 (25.7 %)	146 (52.1 %)	280

表23 大腸がん検診のScreeningの方法
(平成23年度)

(1) 検便法	154 (55.0 %)
(2) 検便法+問診	140 (50.0 %)
(3) 直接法	30 (10.7 %)
検診機関数	280

癌の発見率はほぼ一定であった。

8. 発見胃癌患者の追跡調査

1) 手術成績

集計個票が全国集計委員会に送られてきた発見胃癌の治療の種類をみると、外科手術は3,662例

中1,549例（42.3%）、腹腔鏡下手術は764例（20.9%）、内視鏡的治療は1,114例（30.4%）に施行されていた。腹腔鏡下手術や内視鏡的治療の頻度は年々増加していた（表9）。手術の種類では2,290例中2,231例（97.4%）に切除術が施行され、根治度Aの切除は80.1%を占めていた（表10, 11）。多発癌は3,614例中340例（9.4%）を占めていた（表12）。

2) 占居部位

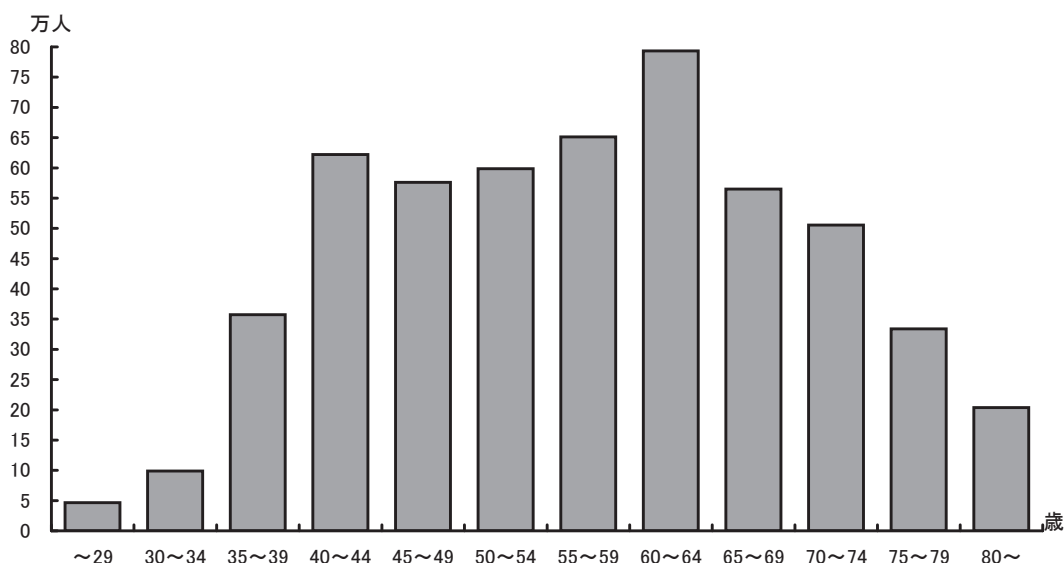
発見胃癌のUML区分でみた占居部位は、Uが20.1%、Mが46.3%、Lが32.3%であった（表

表24 大腸がん検診成績（男女計，平成23年度）

	地域	職域	個別	人間ドック	計
(1) 受診者数	2,913,146	2,614,517	55,612	830,466	6,413,741
(2) 要精検者数 (2)÷(1) (%)	189,773 (6.5 %)	120,801 (4.6 %)	3,969 (7.1 %)	44,958 (5.4 %)	359,501 (5.6 %)
(3) 精検受診者数 (3)÷(2) (%)	132,452 (69.8 %)	39,331 (32.6 %)	2,485 (62.6 %)	18,475 (41.1 %)	192,743 (53.6 %)
(4) 大腸癌患者数 (4)÷(1) (%)	6,037 (0.207 %)	1,039 (0.040 %)	134 (0.241 %)	537 (0.065 %)	7,747 (0.121 %)

図9 大腸がん検診受診者数の年齢階級別分布

(地域，職域，個別，人間ドック，男女計，平成23年度，総数5,352,327名)



13)。壁在性でみると小彎が39.3%で最も多く，次いで後壁が22.9%で，前年度とほぼ同様な傾向がみられた（表14）。

3) 大きさ

長径1cm以下の小胃癌が12.8%，1.1～2.0cmが26.5%で，あわせて39.3%であった（表15）。

4) 切除胃癌の深達度別割合

切除胃癌の深達度別頻度をみると，M癌が46.6%，SM癌が27.4%，あわせて74.0%であり，検診発見胃癌の約3／4は早期癌であった（表16）。

5) Stage分類

Stage I Aは64.2%と2／3を占め，Stage IVは3.8%であった（表17）。

6) 肉眼分類

0型（表在型）が73.6%と最も多く，そのうちⅡc型が51.2%と過半数を占めた。4型は3.1%であった（表18，19）。

7) 発見胃癌例の集検受診前歴

受診前歴の記載された胃癌3,296例について，集検受診歴区分でみると，初回発見例が全胃癌のうち25.3%を占め，1年前受診例，即ち2年連続受診で発見されたものが60.9%を占めた（図8）。

図10 大腸がん検診の要精検率および精検受診率
(地域、職域、個別、人間ドック、男女計、平成23年度)

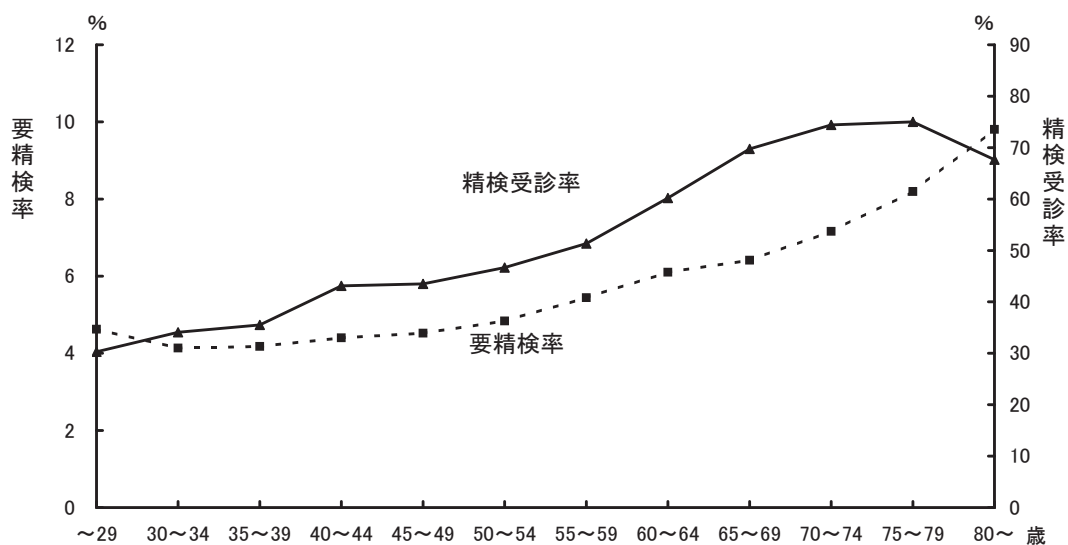
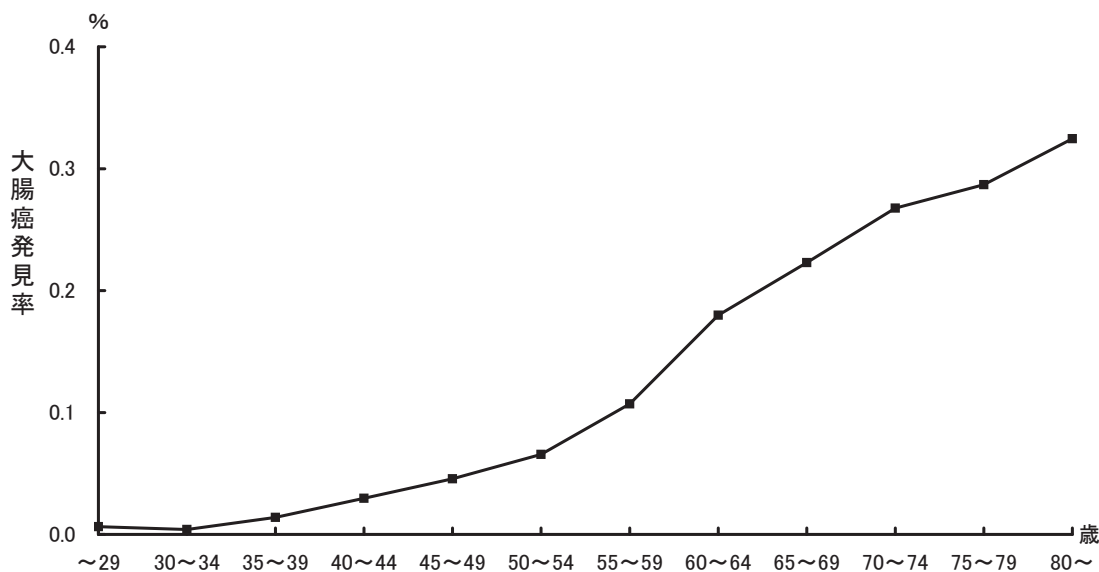


図11 大腸がん検診の大腸癌発見率
(地域、職域、個別、人間ドック、男女計、平成23年度)



各受診歴別に胃癌に占める早期胃癌の割合をみると、初回発見例が69.2%で、一年前、二年前、三年前の早期胃癌の割合は各々76.2%，74.2%，

73.8%であった。一年前あるいは二年前に受診歴のある例では、受診歴のない例に対して、統計学的有意差をもって、早期癌を高率に認めた(図8)。

図12 大腸がん検診における大腸ポリープ（腺腫）および非腺腫性ポリープの発見率
（地域、職域、個別、人間ドック、男女計、平成23年度）

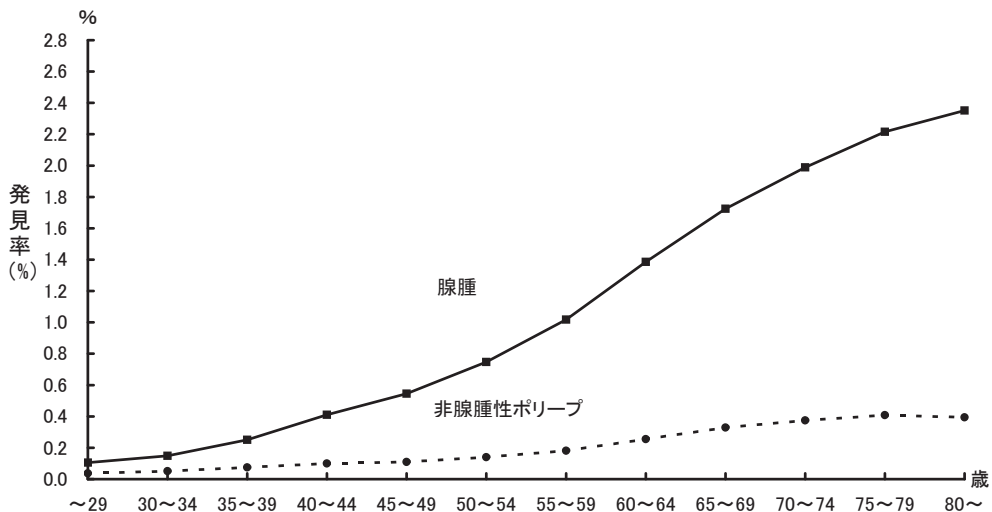


表25 大腸がん検診全国集計成績—男性—地域・職域・個別検診，人間ドック合計（平成23年度）

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,768,246	27,055	60,075	223,864	345,933	319,070	321,829	336,800	376,368	258,364	232,653	156,888	101,082	8,265
B 要精検者数	174,884	1,016	2,135	8,537	14,397	14,748	17,307	21,431	28,280	20,483	19,807	14,938	11,046	759
B/A %	6.32 %	3.76 %	3.55 %	3.81 %	4.16 %	4.62 %	5.38 %	6.36 %	7.51 %	7.93 %	8.51 %	9.52 %	10.93 %	9.18 %
C 精検受診者数	93,649	293	691	2,970	5,695	5,906	7,137	9,467	14,826	13,218	14,232	10,965	7,665	584
C/B %	53.55 %	28.84 %	32.37 %	34.79 %	39.56 %	40.05 %	41.24 %	44.17 %	52.43 %	64.53 %	71.85 %	73.40 %	69.39 %	76.94 %
D 大腸癌	4,403	2	1	33	88	154	216	394	848	772	845	600	414	36
D/A %	0.159 %	0.007 %	0.002 %	0.015 %	0.025 %	0.048 %	0.067 %	0.117 %	0.225 %	0.299 %	0.363 %	0.382 %	0.410 %	0.436 %
カルチノイド	52	0	1	4	4	6	4	4	11	7	4	6	1	0
腺腫性ポリープ	38,630	27	101	622	1,642	2,090	3,023	4,343	6,863	6,062	6,169	4,485	2,940	263
非腺腫性ポリープ	6,852	4	29	158	385	398	524	691	1,153	1,046	1,101	823	496	44
潰瘍性大腸炎	798	14	21	71	130	108	93	95	76	47	65	43	31	4
クローン氏病	63	1	5	12	10	10	7	3	5	5	0	3	2	0
大腸憩室	6,259	13	27	156	305	339	468	602	954	839	1,018	840	630	68
その他良性疾患	8,364	44	79	340	671	619	593	716	1,141	1,086	1,299	1,030	723	23
異常なし	22,783	156	341	1,310	2,108	1,837	1,793	2,092	3,029	2,627	2,996	2,438	1,919	137

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

9. 内視鏡胃がん検診の全国集計成績

一次スクリーニングとして内視鏡を用いた、いわゆる内視鏡胃がん検診は、X線撮影法による胃がん検診のような受診者の性年齢区分をした詳細ながん検診成績の回答は求めず、前年度と同様簡単な集計にとどめた。対象も前年度と同様に、年間500人以上の内視鏡胃がん検診を施行した機関のみに限定した。このような条件で集計すると、内視鏡胃がん検診の受診者総数は453,951人、発見胃癌1,249例（発見率0.28%）、うち早期癌は949例（76.0%）を占めた。胃癌発見率は高率であった（表

20）。

II 大腸がん検診全国集計

平成23年度に実施された大腸がん検診の全国集計調査に回答を寄せた機関は280カ所で、検診の統計をよく行っているI群の割合は88.2%であった（表21）。

1. 大腸検診の受診対象

大腸検診の受診対象は表22に示すように重複回答であるが、地域検診は72.9%、職域検診は73.2%、個別検診は25.7%、人間ドックは52.1%で行われ

表26 大腸がん検診全国集計成績—女性—地域・職域・個別検診，人間ドック合計（平成23年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,600,704	19,545	38,828	133,543	276,279	256,891	276,710	314,479	416,982	306,608	272,807	177,102	102,572	8,358
B 要精検者数	133,660	1,140	1,956	6,393	12,986	11,303	11,642	14,022	20,147	15,758	16,382	12,431	8,929	571
B/A %	5.14 %	5.83 %	5.04 %	4.79 %	4.70 %	4.40 %	4.21 %	4.46 %	4.83 %	5.14 %	6.00 %	7.02 %	8.71 %	6.83 %
C 精検受診者数	85,024	360	703	2,332	6,116	5,423	6,379	8,730	14,334	12,065	12,703	9,567	5,848	464
C/B %	63.61 %	31.58 %	35.94 %	36.48 %	47.10 %	47.98 %	54.79 %	62.26 %	71.15 %	76.56 %	77.54 %	76.96 %	65.49 %	81.26 %
D 大腸癌	2,907	1	3	17	96	109	177	303	579	488	508	358	247	21
D/A %	0.112 %	0.005 %	0.008 %	0.013 %	0.035 %	0.042 %	0.064 %	0.096 %	0.139 %	0.159 %	0.186 %	0.202 %	0.241 %	0.251 %
カルチノイド	28	0	0	1	5	3	4	2	6	4	0	3	0	0
腺腫性ポリープ	22,647	22	46	275	912	1,048	1,451	2,285	4,134	3,684	3,882	2,915	1,849	144
非腺腫性ポリープ	4,779	13	21	108	235	235	314	492	876	811	794	540	307	33
潰瘍性大腸炎	658	7	17	48	103	66	68	81	65	69	66	39	24	5
クローン氏病	26	0	0	3	5	2	1	3	6	0	1	1	4	0
大腸憩室	5,494	6	17	72	212	229	310	514	954	841	945	805	529	60
その他良性疾患	9,874	49	85	280	886	710	775	1,023	1,650	1,300	1,454	1,019	578	65
異常なし	33,285	209	450	1,307	3,237	2,673	2,846	3,535	5,288	4,196	4,316	3,242	1,855	131

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表27 地域大腸がん検診全国集計成績—男性—（平成23年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,073,865	1,650	3,880	8,427	52,697	48,328	59,006	79,641	179,176	191,787	200,028	146,045	95,658	7,542
B 要精検者数	85,283	62	133	361	2,625	2,696	3,479	5,417	13,571	15,069	16,936	13,838	10,400	696
B/A %	7.94 %	3.76 %	3.43 %	4.28 %	4.98 %	5.58 %	5.90 %	6.80 %	7.57 %	7.86 %	8.47 %	9.48 %	10.87 %	9.23 %
C 精検受診者数	59,136	33	71	197	1,447	1,511	2,001	3,328	8,927	10,805	12,657	10,312	7,299	548
C/B %	69.34 %	53.23 %	53.38 %	54.57 %	55.12 %	56.05 %	57.52 %	61.44 %	65.78 %	71.70 %	74.73 %	74.52 %	70.18 %	78.74 %
D 大腸癌	3,277	0	1	2	36	46	71	169	559	650	746	571	392	34
D/A %	0.305 %	0.000 %	0.026 %	0.024 %	0.068 %	0.095 %	0.120 %	0.212 %	0.312 %	0.339 %	0.373 %	0.391 %	0.410 %	0.451 %
カルチノイド	19	0	0	1	0	0	0	1	1	6	3	6	1	0
腺腫性ポリープ	24,886	0	5	42	378	508	811	1,451	4,047	4,916	5,464	4,223	2,798	243
非腺腫性ポリープ	4,650	1	4	11	103	124	174	276	739	901	1,021	774	478	44
潰瘍性大腸炎	307	2	2	3	33	25	15	25	32	39	57	39	31	4
クローン氏病	17	0	2	0	1	0	2	0	5	2	0	3	2	0
大腸憩室	3,969	4	2	12	63	72	116	184	538	673	889	782	593	61
その他良性疾患	5,560	3	11	22	181	175	204	321	806	943	1,192	989	692	21
異常なし	13,282	14	40	81	574	469	507	749	1,811	2,131	2,651	2,290	1,833	132

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表28 地域大腸がん検診全国集計成績—女性—（平成23年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,631,074	1,874	4,753	13,897	110,858	99,365	119,759	170,533	316,017	267,832	251,001	169,223	98,033	7,929
B 要精検者数	89,995	146	287	757	5,823	4,753	5,398	7,909	15,425	13,680	14,935	11,820	8,503	559
B/A %	5.52 %	7.79 %	6.04 %	5.45 %	5.25 %	4.78 %	4.51 %	4.64 %	4.88 %	5.11 %	5.95 %	6.98 %	8.67 %	7.05 %
C 精検受診者数	66,323	68	161	447	3,416	2,918	3,697	5,802	11,930	10,846	11,822	9,146	5,610	460
C/B %	73.70 %	46.58 %	56.10 %	59.05 %	58.66 %	61.39 %	68.49 %	73.36 %	77.34 %	79.28 %	79.16 %	77.38 %	65.98 %	82.29 %
D 大腸癌	2,472	0	0	5	60	73	113	212	490	441	482	342	233	21
D/A %	0.152 %	0.000 %	0.000 %	0.036 %	0.054 %	0.073 %	0.094 %	0.124 %	0.155 %	0.165 %	0.192 %	0.202 %	0.238 %	0.265 %
カルチノイド	21	0	0	0	3	1	3	2	6	4	0	2	0	0
腺腫性ポリープ	18,321	3	12	54	489	535	826	1,499	3,372	3,271	3,581	2,766	1,771	143
非腺腫性ポリープ	3,969	3	11	23	148	127	187	353	768	744	757	517	299	32
潰瘍性大腸炎	461	1	7	6	66	36	39	53	56	65	65	39	23	5
クローン氏病	13	0	0	0	3	0	0	1	3	0	1	1	4	0
大腸憩室	4,477	0	0	10	122	113	177	329	776	749	864	772	505	60
その他良性疾患	7,829	9	22	58	527	412	509	720	1,417	1,189	1,360	983	560	63
異常なし	24,939	41	99	252	1,786	1,446	1,629	2,352	4,449	3,791	4,057	3,122	1,784	131

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

ていた。

2. 大腸検診の実施方法

大腸検診のスクリーニングの方法は、検便法だけによるものが55.0%，検便法に問診を加えた方法が50.0%であった（表23）。

3. 大腸検診の成績

平成23年度に行われた全国の男女合計の受診者総数は6,413,741人で前年度に比べ約15万人（2.3%）増加していた。大腸癌発見数は7,747例（0.121%）であった。対象区分別にみると大腸癌の発見率は地域検診0.207%，職域検診0.040%，個別検

表29 検診発見大腸癌の受診前歴
(男女計, 平成23年度)

初回受診者	2,193 名	(39.1 %)
1年前 "	2,446 名	(43.6 %)
2年前 "	455 名	(8.1 %)
3年前 "	195 名	(3.5 %)
不 明	321 名	(5.7 %)
計	5,610 名	(100.0 %)

表30 過去3年間の、検診での便潜血検査
受診回数 (男女計, 平成23年度)

0回	2,090 名	(38.0 %)
1回	696 名	(12.7 %)
2回	481 名	(8.8 %)
3回	902 名	(16.4 %)
4回以上	106 名	(1.9 %)
不明	1,222 名	(22.2 %)
計	5,497 名	(100.0 %)

表31 大腸検査受診歴
(男女計, 平成23年度)

なし	1,887 名	(36.3 %)
0～1年前受診	138 名	(2.6 %)
1～2年前受診	75 名	(1.4 %)
2～3年前受診	63 名	(1.2 %)
不明	3,045 名	(58.5 %)
計	5,208 名	(100.0 %)

診0.241%, 人間ドック0.065%であった(表24)。

地域、職域、個別、人間ドック検診のうち、年齢が5歳階級別に報告された男女合計5,352,327人

表32 大腸がんの既往歴
(男女計, 平成23年度)

なし	3,510 名	(66.7 %)
あり	33 名	(0.6 %)
不明	1,721 名	(32.7 %)
計	5,264 名	(100.0 %)

表33 大腸ポリープの既往歴
(男女計, 平成23年度)

なし	2,824 名	(53.7 %)
あり	318 名	(6.0 %)
不明	2,121 名	(40.3 %)
計	5,263 名	(100.0 %)

表34 大腸ポリープ切除の既往歴
(男女計, 平成23年度)

なし	2,918 名	(55.5 %)
あり	174 名	(3.3 %)
不明	2,169 名	(41.2 %)
計	5,261 名	(100.0 %)

について年齢別頻度を検討すると、受診者数の年齢分布は50歳代と60歳代があわせて48.7%と半数を占めた。39歳以下は9.4%, また70歳以上は19.5%を占めた(図9)。要精検率をみると、ほぼ加齢に伴って上昇していた。精検受診率は、胃がん検診に比較して低い傾向がみられた(図10)。

大腸癌発見率は加齢とともに上昇していた。とくに、70歳代の発見率は、全年齢層の平均の2.0倍であった(図11)。大腸腺腫の発見率は1.1%で、これは大腸癌の9.2倍の頻度であり、発見率は加齢とともに上昇していた。非腺腫性ポリープの発見率は0.22%で、大腸癌の1.7倍の発見率であった(図12)。

表35 治療の方法
(男女計, 平成23年度)

外科手術	1,363	(24.6 %)
腹腔鏡下手術	1,323	(23.9 %)
内視鏡的ポリペクトミー	1,015	(18.3 %)
内視鏡的粘膜切除 (含: 粘膜下層剥離術)	1,619	(29.3 %)
無治療	17	(0.3 %)
その他	71	(1.3 %)
不 明	128	(2.3 %)
計	5,536	(100.0 %)

表36 手術の種類
(男女計, 平成23年度)

結腸切除	1,787	(67.4 %)
直腸切除	616	(23.2 %)
直腸切断 (人工肛門造設)	92	(3.5 %)
その他	69	(2.6 %)
不 明	88	(3.3 %)
計	2,652	(100.0 %)

表37 癌病巣の数
(男女計, 平成23年度)

単発	5,052	(91.7 %)
2個	245	(4.4 %)
3個	43	(0.8 %)
4個以上	31	(0.6 %)
不明	135	(2.5 %)
計	5,506	(100.0 %)

性・年齢階級別の大腸がん検診全国集計成績を表25, 26に示した。受診者年齢層のピークは男女とも60歳代前半であった。大腸癌発見率は男0.159%, 女0.112%であった。

地域住民を対象とした大腸がん検診の全国集計成績を, 表27, 28に示した。男の受診者年齢層の

表38 癌病巣の部位
(男女計, 平成23年度)

部 位	例 数
肛 門 管 (P)	12 (0.2 %)
直 腸 (R)	1,181 (21.7 %)
直腸S状部 (RS)	502 (9.2 %)
S 状 結 腸 (S)	1,802 (33.1 %)
下 行 結 腸 (D)	274 (5.0 %)
横 行 結 腸 (T)	516 (9.5 %)
上 行 結 腸 (A)	803 (14.7 %)
盲 腸 (C)	324 (6.0 %)
虫 垂 (V)	31 (0.6 %)
計	5,445 (100.0 %)

表39 肉眼分類
(男女計, 平成23年度)

0型	3,487	(64.7 %)
1型	294	(5.5 %)
2型	1,468	(27.2 %)
3型	124	(2.3 %)
4型	7	(0.1 %)
5型	13	(0.2 %)
計	5,393	(100.0 %)

ピークは70歳代前半, 女は60歳代前半であった。大腸癌発見率は男0.305%, 女0.152%と高率であった。

4. 発見大腸癌の追跡調査成績

1) 集計個票の送られてきたがん検診発見大腸癌のうち, 39.1%は初回受診者, 43.6%は1年前受診者であった(表29)。

過去3年間に於いて, 検診で便潜血検査を受けた回数は1回が12.7%, 2回以上が27.1%(表30), 大腸検査受診歴のあるものが5.2%(表31)であった。大腸癌の既往は0.6%, 大腸ポリープの既往は6.0%, 大腸ポリープ切除の既往は3.3%

表40 O型（表在型）の肉眼分類
（男女計，平成23年度）

I p	792	(22.7 %)
I sp	1,126	(32.2 %)
I s	519	(14.9 %)
II a	536	(15.4 %)
II a+II c	225	(6.5 %)
II b	8	(0.2 %)
II c	73	(2.1 %)
その他	128	(3.7 %)
不 明	80	(2.3 %)
計	3,487	(100.0 %)

表41 大腸癌の大きさ（長径）
（男女計，平成23年度）

大きさ(cm)	病巣数	
～1.0	1,158	(23.2 %)
1.1～2.0	1,782	(35.7 %)
2.1～5.0	1,714	(34.4 %)
5.1～	332	(6.7 %)
計	4,986	(100.0 %)

表42 大腸癌の環周度
（男女計，平成23年度）

1/3 以下	2,814	(72.3 %)
1/2 以下	471	(12.1 %)
3/4 以下	262	(6.7 %)
3/4 以上	144	(3.7 %)
全 周	201	(5.2 %)
計	3,892	(100.0 %)

表43 大腸癌のStage分類
（男女計，平成23年度）

Stage O	1,737	(31.6 %)
Stage I	1,160	(21.0 %)
Stage II	531	(9.6 %)
Stage IIIa	459	(8.3 %)
Stage IIIb	140	(2.5 %)
Stage IV	105	(1.9 %)
不 明	1,381	(25.1 %)
計	5,513	(100.0 %)

表44 大腸癌の深達度
（男女計，平成23年度）

M	2,455	(44.6 %)
SM	1,038	(18.9 %)
MP	575	(10.5 %)
SS(A)	930	(16.9 %)
SE	254	(4.6 %)
SI(AI)	37	(0.7 %)
不明	207	(3.8 %)
計	5,496	(100.0 %)

表45 大腸癌のDukes分類
（男女計，平成23年度）

Dukes A	1,160	(37.9 %)
Dukes B	531	(17.4 %)
Dukes C	599	(19.6 %)
Dukes D	105	(3.4 %)
不 明	663	(21.7 %)
計	3,058	(100.0 %)

に認められた（表32，33，34）。

2）治療の方法

外科手術は1,363例（24.6%），腹腔鏡下手術は

1,323例（23.9%），内視鏡的ポリペクトミーは1,015例（18.3%），内視鏡的粘膜切除（含粘膜下層剝離術）は1,619例（29.3%）に行われた（表35）。

表46 リンパ節転移の有無
(男女計, 平成23年度)

N0	3,543	(71.5 %)
N1	507	(10.2 %)
N2	151	(3.0 %)
N3	50	(1.0 %)
不明	709	(14.3 %)
計	4,960	(100.0 %)

表47 遠隔転移の有無
(男女計, 平成23年度)

なし	4,200	(84.1 %)
あり	123	(2.5 %)
不明	669	(13.4 %)
計	4,992	(100.0 %)

表48 大腸癌の組織型分類
(男女計, 平成23年度)

乳頭腺癌	(pap)	180	(3.3 %)
高分化管状腺癌	(tub1)	3,177	(58.9 %)
中分化管状腺癌	(tub2)	1,398	(25.9 %)
低分化腺癌	(por)	61	(1.1 %)
粘液癌	(muc)	54	(1.0 %)
印環細胞癌	(sig)	5	(0.1 %)
その他		148	(2.7 %)
不 明		377	(7.0 %)
計		5,400	(100.0 %)

3) 手術の種類

手術のうち、結腸切除術が1,787例 (67.4%), 直腸切除術が616例 (23.2%), 人工肛門を造設した直腸切断術は92例 (3.5%) であった (表36)。

4) 癌病巣の数

単発は5,052例 (91.7%), 多発は319例 (5.8%) であった (表37)。

5) 占居部位

発見大腸癌の占居部位は5,445例中、最も多い

表49 食道がん検診の全国集計成績
(平成23年度)

受診者総数	1,008,713 人	
男	606,473 人	(60.1 %)
女	402,240 人	(39.9 %)
発見疾患と発見率		
食道癌	141 名	(0.01 %)
食道ポリープ	1,398 名	(0.14 %)
食道炎	19,783 名	(1.96 %)
バレット潰瘍	289 名	(0.03 %)
静脈瘤	538 名	(0.05 %)
その他の疾患	45,979 名	(4.56 %)

表50 肝胆膵検診の全国集計成績 (平成23年度)

受診者総数	1,229,222 人	
男	683,325 人	(55.6 %)
女	545,897 人	(44.4 %)
発見疾患と発見率		
肝癌(原発性)	99 名	(0.008 %)
肝癌(転移性)	36 名	(0.003 %)
肝硬変症	324 名	(0.03 %)
脂肪肝	222,262 名	(18.1 %)
肝嚢胞	163,084 名	(13.3 %)
胆嚢癌	31 名	(0.003 %)
胆嚢ポリープ	139,993 名	(11.4 %)
胆石症	41,092 名	(3.3 %)
膵癌	88 名	(0.007 %)
膵石症	587 名	(0.048 %)
膵嚢胞	6,769 名	(0.55 %)
腎癌	177 名	(0.014 %)

のがS状結腸で1,802例 (33.1%), ついで直腸の1,181例 (21.7%) であり (表38), 両者で過半数を占めた。

6) 大腸癌の肉眼分類

0型が3,487例 (64.7%) と最も多くみられた。そのうちI s p型が1,126例 (32.2%) で、IIc型は73例 (2.1%) のみであった。また2型が1,468例 (27.2%) と多く、4型は7例 (0.1%) のみであった (表39, 40)。

7) 大きさと環周度

直径1.0cm以下のもの1,158例 (23.2%), 1.1 ~ 2.0cmが1,782例 (35.7%) と2cm以下が過半数を占めた (表41)。環周度は1 / 3以下が2,814例 (72.3

%)で2/3を占め、全周性が201例(5.2%)に認められた(表42)。

8) Stage分類

Stage 0とStage Iで2,897例(52.6%)と約1/2を占めた。Stage IVは105例(1.9%)であった(表43)。

9) 深達度分類

Mは2,455例(44.6%), SMは1,038例(18.9%)であり、合計で63.5%と早期癌が全体の2/3を占めた。進行癌を深達度別にみると、MP575例(10.5%), SS(A) 930例(16.9%), SE254例(4.6%), SI(AI) 37例(0.7%)であった(表44)。

10) Dukes分類

Dukes Aは1,160例(37.9%)であった(表45)。

11) 転移の有無

リンパ節転移ありは4,960例中708例(14.2%)であった。遠隔転移ありは4,992例中123例(2.5%)であった(表46, 47)。

12) 組織型分類

病理組織検査を行った5,400例中、高分化管状腺癌が3,177例(58.9%)で最も多く、ついで、中分化管状腺癌が1,398例(25.9%)であった(表48)。

Ⅲ 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

1. 食道がん検診

食道がん検診の受診者総数は1,008,713人であった。また、発見食道癌は141例(0.01%), 食道ポ

リープ1,398例(0.14%), 食道炎19,783例(1.96%)であった(表49)。

2. 肝胆膵検診

肝胆膵検診の受診者総数は1,229,222人であった。発見疾患は、脂肪肝18.1%, 肝嚢胞13.3%, 胆嚢ポリープ11.4%, 胆石症3.3%であり、少数例ではあるが肝硬変症324例(0.03%), 原発性肝癌99例(0.008%), 転移性肝癌36例(0.003%), 胆嚢癌31例(0.003%), 膵癌88例(0.007%), 腎癌177例(0.014%)が発見された(表50)。

Ⅳ まとめ

平成23年度の消化器がん検診全国集計について要約すると以下ようになる。

(1) 胃がん検診については、受診者総数が6,836,129人で、前年度比-1.5%, 約10万人の減少、発見胃癌は5,371例(発見率0.079%)であった。地域検診は、全体の43.7%の約256万人であった。

(2) 大腸がん検診は全国で6,413,741人、前年度比+2.3%, 約15万人の増加、発見大腸癌7,747例(発見率0.121%)であった。

なお、アンケートの回答をおよせいただいた全国の検診機関、および学会の役職員や事務局の方々、各県の全国集計協力委員、認定医の先生方の絶大な協力に対して厚く御礼申し上げます。

表51

胃がん検診

		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B/A 要 精検率	C/B 精検 受診率	D/A 胃癌 発見率	D/B 適中度	E/D D票 回収率
		C I 票 間接、直接、デジタル撮影の合計				X線造影					
全 国		6,836,129	491,085	301,132	5,371	3,709	7.18	61.3	0.079	1.09	69.1
支 部 別	北海道	367,754	21,791	15,134	320	308	5.93	69.5	0.087	1.47	96.3
	東 北	1,023,450	86,830	62,952	1,161	1,072	8.48	72.5	0.113	1.34	92.3
	関東甲信越	1,863,209	144,080	85,578	1,631	744	7.73	59.4	0.088	1.13	45.6
	東海北陸	1,082,924	80,347	40,753	570	378	7.42	50.7	0.053	0.71	66.3
	近 畿	992,243	63,133	32,213	601	420	6.36	51.0	0.061	0.95	69.9
	中国四国	495,813	28,907	19,329	437	268	5.83	66.9	0.088	1.51	61.3
	九 州	1,010,736	65,997	45,173	651	519	6.53	68.4	0.064	0.99	79.7
北海道	北海道	367,754	21,791	15,134	320	308	5.93	69.5	0.087	1.47	96.3
東 北	青 森	157,003	14,712	9,180	122	111	9.37	62.4	0.078	0.83	91.0
	岩 手	185,029	12,595	9,815	193	178	6.81	77.9	0.104	1.53	92.2
	秋 田	96,663	10,048	7,206	129	93	10.39	71.7	0.133	1.28	72.1
	宮 城	237,825	17,691	12,747	379	374	7.44	72.1	0.159	2.14	98.7
	山 形	225,838	20,547	15,283	194	194	9.10	74.4	0.086	0.94	100.0
	福 島	121,092	11,237	8,721	144	122	9.28	77.6	0.119	1.28	84.7
関 東 甲 信 越	茨 城	168,264	17,557	12,535	180	145	10.43	71.4	0.107	1.03	80.6
	群 馬	103,912	8,984	4,798	113	98	8.65	53.4	0.109	1.26	86.7
	栃 木	78,252	6,247	4,391	91	89	7.98	70.3	0.116	1.46	97.8
	埼 玉	115,081	8,189	5,318	100	63	7.12	64.9	0.087	1.22	63.0
	千 葉	261,572	25,105	15,338	263	115	9.60	61.1	0.101	1.05	43.7
	東 京	301,963	17,636	9,260	149	138	5.84	52.5	0.049	0.84	92.6
	神奈川	351,613	26,634	8,670	189	42	7.57	32.6	0.054	0.71	22.2
	山 梨	61,825	4,543	3,220	40	10	7.35	70.9	0.065	0.88	25.0
	長 野	98,239	10,248	7,387	77	8	10.43	72.1	0.078	0.75	10.4
	新 潟	322,488	18,937	14,661	429	36	5.87	77.4	0.133	2.27	8.4
東 海 北 陸	富 山	115,647	7,399	4,957	79	46	6.40	67.0	0.068	1.07	58.2
	石 川	66,430	7,458	5,849	86	79	11.23	78.4	0.129	1.15	91.9
	福 井	46,657	3,400	2,271	47	43	7.29	66.8	0.101	1.38	91.5
	静 岡	253,399	16,457	9,440	147	100	6.49	57.4	0.058	0.89	68.0
	愛 知	291,457	24,075	8,482	94	41	8.26	35.2	0.032	0.39	43.6
	三 重	130,496	6,756	2,510	28	13	5.18	37.2	0.021	0.41	46.4
	岐 阜	178,838	14,802	7,244	89	56	8.28	48.9	0.050	0.60	62.9

胃がん検診		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B/A 要 精検率	C/B 精検 受診率	D/A 胃癌 発見率	D/B 適中度	E/D D票 回収率
		C I 票	間接、直接、デジタル撮影の合計			X線造影					
近畿	滋賀	90,223	5,221	3,410	51	27	5.79	65.3	0.057	0.98	52.9
	奈良	30,505	1,040	613	24	18	3.41	58.9	0.079	2.31	75.0
	京都	199,827	19,417	6,308	74	26	9.72	32.5	0.037	0.38	35.1
	大阪	413,951	22,056	11,195	229	153	5.33	50.8	0.055	1.04	66.8
	和歌山	22,753	1,737	1,106	16	13	7.63	63.7	0.070	0.92	81.3
	兵庫	234,984	13,662	9,581	207	183	5.81	70.1	0.088	1.52	88.4
中国四国	鳥取	29,105	2,329	1,542	35	20	8.00	66.2	0.120	1.50	57.1
	島根	39,436	2,865	1,802	24	24	7.26	62.9	0.061	0.84	100.0
	岡山	107,908	5,044	2,874	52	4	4.67	57.0	0.048	1.03	7.7
	広島	115,837	6,240	3,765	99	45	5.39	60.3	0.085	1.59	45.5
	山口	6,518	1,222	347	6	0	18.75	28.4	0.092	0.49	0.0
	香川	31,377	1,919	1,740	50	40	6.12	90.7	0.159	2.61	80.0
	徳島	25,331	1,960	1,502	30	22	7.74	76.6	0.118	1.53	73.3
	愛媛	77,658	4,880	3,794	104	84	6.28	77.7	0.134	2.13	80.8
	高知	62,643	2,448	1,963	37	29	3.91	80.2	0.059	1.51	78.4
九州	福岡	441,001	25,738	14,388	244	189	5.84	55.9	0.055	0.95	77.5
	佐賀	33,541	4,280	3,554	46	46	12.76	83.0	0.137	1.07	100.0
	長崎	33,455	3,158	2,527	33	21	9.44	80.0	0.099	1.04	63.6
	熊本	140,919	7,257	5,327	70	70	5.15	73.4	0.050	0.96	100.0
	大分	100,296	5,076	3,823	42	18	5.06	75.3	0.042	0.83	42.9
	宮崎	56,685	4,007	3,188	48	36	7.07	79.6	0.085	1.20	75.0
	鹿児島	129,185	11,994	10,054	145	126	9.28	83.8	0.112	1.21	86.9
	沖縄	75,654	4,487	2,312	23	13	5.93	51.5	0.030	0.51	56.5

大腸がん検診		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 大腸癌 発見数	E D票 回収数	B / A 要 精検率	C / B 精検 受診率	D / A 大腸癌 発見率	D / B 適中度	E / D D票 回収率
		C I 票 検便法				検便法					
全 国		6,413,741	359,501	192,743	7,747	5,600	5.61	53.6	0.121	2.15	72.3
支 部 別	北海道	253,165	17,793	12,130	481	476	7.03	68.2	0.190	2.70	99.0
	東 北	1,063,108	56,290	36,910	1,445	1,340	5.29	65.6	0.136	2.57	92.7
	関東甲信越	1,717,949	93,042	46,033	2,237	823	5.42	49.5	0.130	2.40	36.8
	東海北陸	900,300	51,885	21,896	783	599	5.76	42.2	0.087	1.51	76.5
	近 畿	884,955	45,099	19,254	924	844	5.10	42.7	0.104	2.05	91.3
	中国四国	432,639	25,335	15,556	523	376	5.86	61.4	0.121	2.06	71.9
	九 州	1,161,625	70,057	40,964	1,354	1,142	6.03	58.5	0.117	1.93	84.3
北海道	北海道	253,165	17,793	12,130	481	476	7.03	68.2	0.190	2.70	99.0
東 北	青 森	159,364	5,971	3,735	179	157	3.75	62.6	0.112	3.00	87.7
	岩 手	210,316	10,718	7,412	332	315	5.10	69.2	0.158	3.10	94.9
	秋 田	119,599	7,268	4,739	206	162	6.08	65.2	0.172	2.83	78.6
	宮 城	165,472	7,648	4,286	241	221	4.62	56.0	0.146	3.15	91.7
	山 形	256,018	13,903	9,283	240	240	5.43	66.8	0.094	1.73	100.0
	福 島	152,339	10,782	7,455	247	245	7.08	69.1	0.162	2.29	99.2
関 東 甲 信 越	茨 城	187,817	12,467	8,241	334	270	6.64	66.1	0.178	2.68	80.8
	群 馬	74,950	3,957	2,421	145	84	5.28	61.2	0.193	3.66	57.9
	栃 木	90,438	4,928	2,979	116	111	5.45	60.5	0.128	2.35	95.7
	埼 玉	83,586	5,310	2,766	165	136	6.35	52.1	0.197	3.11	82.4
	千 葉	96,367	6,697	2,751	144	6	6.95	41.1	0.149	2.15	4.2
	東 京	197,406	12,384	5,056	182	154	6.27	40.8	0.092	1.47	84.6
	神奈川	526,801	25,217	7,981	567	20	4.79	31.6	0.108	2.25	3.5
	山 梨	113,203	3,900	2,167	53	21	3.45	55.6	0.047	1.36	39.6
	長 野	178,802	9,771	5,649	205	20	5.46	57.8	0.115	2.10	9.8
	新 潟	168,579	8,411	6,022	326	1	4.99	71.6	0.193	3.88	0.3
東 海 北 陸	富 山	69,283	4,088	2,339	74	48	5.90	57.2	0.107	1.81	64.9
	石 川	81,723	4,500	3,056	109	109	5.51	67.9	0.133	2.42	100.0
	福 井	49,222	2,204	1,705	112	100	4.48	77.4	0.228	5.08	89.3
	静 岡	301,676	15,238	7,180	241	206	5.05	47.1	0.080	1.58	85.5
	愛 知	112,929	7,130	2,102	59	53	6.31	29.5	0.052	0.83	89.8
	三 重	130,541	7,685	1,865	49	29	5.89	24.3	0.038	0.64	59.2
	岐 阜	154,926	11,040	3,649	139	54	7.13	33.1	0.090	1.26	38.8

大腸がん検診		A	B	C	D	E	B / A	C / B	D / A	D / B	E / D
		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	大腸癌 発見率	適中度	D票 回収率
		C I 票 検便法				検便法					
近畿	滋賀	62,642	4,317	3,366	227	227	6.89	78.0	0.362	5.26	100.0
	奈良	19,329	1,190	480	9	0	6.16	40.3	0.047	0.76	0.0
	京都	245,729	12,060	1,533	48	48	4.91	12.7	0.020	0.40	100.0
	大阪	306,714	15,081	6,811	283	230	4.92	45.2	0.092	1.88	81.3
	和歌山	20,903	1,234	514	27	23	5.90	41.7	0.129	2.19	85.2
	兵庫	229,638	11,217	6,550	330	316	4.88	58.4	0.144	2.94	95.8
中国四国	鳥取	37,152	2,196	1,382	52	38	5.91	62.9	0.140	2.37	73.1
	島根	45,355	1,898	1,137	77	64	4.18	59.9	0.170	4.06	83.1
	岡山	67,271	4,441	2,105	54	8	6.60	47.4	0.080	1.22	14.8
	広島	61,095	3,618	1,927	98	92	5.92	53.3	0.160	2.71	93.9
	山口	1,903	120	43	2	0	6.31	35.8	0.105	1.67	0.0
	香川	29,332	2,007	1,519	24	21	6.84	75.7	0.082	1.20	87.5
	徳島	24,026	2,666	1,711	35	21	11.10	64.2	0.146	1.31	60.0
	愛媛	103,428	6,547	4,521	103	83	6.33	69.1	0.100	1.57	80.6
	高知	63,077	1,842	1,211	78	49	2.92	65.7	0.124	4.23	62.8
九州	福岡	432,326	23,222	10,752	454	378	5.37	46.3	0.105	1.96	83.3
	佐賀	52,393	4,007	2,785	83	82	7.65	69.5	0.158	2.07	98.8
	長崎	44,598	3,015	2,186	93	78	6.76	72.5	0.209	3.08	83.9
	熊本	246,102	14,458	10,068	254	253	5.87	69.6	0.103	1.76	99.6
	大分	129,423	7,817	4,747	147	82	6.04	60.7	0.114	1.88	55.8
	宮崎	36,058	2,606	1,278	34	29	7.23	49.0	0.094	1.30	85.3
	鹿児島	104,634	8,105	6,149	156	154	7.75	75.9	0.149	1.92	98.7
	沖縄	116,091	6,827	2,999	133	86	5.88	43.9	0.115	1.95	64.7

本稿で発表できなかった集計資料は、平成23年度消化器がん検診全国集計資料集（1部3,000円、送料別）としてまとめてありますので、ご希望の方は学会事務局までお申し込み下さい。